



School

教育情報 桂川っ子

【問合先】桂川町教育委員会 ☎65・1149

道徳の公開授業がありました

桂川中学校 校長 深見秀人

平成三十一年度より、中学校では、「道徳の時間」が「特別の教科道徳（道徳科）」になります。この道徳の教科化の背景には、いじめ問題や自己肯定感の低下、説明する力の弱さなどの解決のために学校の全教育活動の要として「特別の教科道徳」が必要となってきたからです。

本校では、福岡県道徳教育推進事業を受け、道徳科の実施を念頭に、研究主題を「考えを深め、道徳的実践意欲や態度を高める授業づくり」と設定し、本年度研究を進めてきました。十一月九日は、各学年代表者による道徳の公開授業と研究協議会が行われました。その中で、今まで読み物教材等で登場人物の心情理解に重点を置いた従来の指導から脱却し、心情グラフの使用、話し合いや考えをノートにまとめる活動など道徳的な問題をいろいろな視点から考え、理解を深めさせる多様な指導方法を取り入れた授業を行いました。その結果、生徒も意欲的に学習することができ、多くの参観者から好評をいただきました。今後とも、二年後に始まる「道徳科」

に対応できるように、研究を深めていきたいと考えています。

平成29年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況（その2）

桂川町教育委員会

10月号に引き続き本年度の「全国学力・学習状況調査」から見える桂川町の児童・生徒の状況を報告します。調査では学力の状況だけでなく、学習の状況や生活実態も見えてきます。桂川町が全国平均や県平均と比べてポイントの高い項目を下図に抜粋しました。

【学校生活】「授業」の項目のポイントは全国や県よりも高く、学習に臨む意識が充実していることがうかがえます。また、「授業で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは難しいと思いますか」「四百字詰め原稿用紙2〜3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか」についての項目では、「そうは思わない」「児童・生徒の割合が高く、自分の考えを表現する力が育ってきています」。

【規範意識や友達関係】の項目のポイントも小中学校ともに全国平均よりも高く、規範意識や友達関係も良

好であろうと思われる。また、「授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか」「難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか」「将来の夢や目標を持っていきますか」の項目が良好で、子ども達の生活意欲も醸成されつつあるのではないのでしょうか。

しかし、全国平均と比べて改善を必要とする項目として、「普段（月々金曜日）、1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしている」「住んでいる地域の行事にあまり参加していない」の項目が、小中共に課題として上がっています。地域社会での活動機会を積極的に活用していただければと思います。

【学校生活】
「学校に行くのは楽しいと思う」
「話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていく」
「先生は、授業やテストで間違えたところについて、わかるまで教えてくれる」

【授業】
「授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で自分たちで立てた課題に対して、自ら考え自分から取り組んでいる」
「授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまともを書いていく」
「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている」

【規範意識や友達関係】
「学校のきまりを守っている」
「人の役に立つ人間になりたいと思う」
「友達と話し合う時、友だちの話や意見を最後まで聞くことができる」
「友達と話し合う時、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる」
「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である」